

## 中央検査室

### 【概要】

中央検査室では、臨床側への迅速で正確な検査結果報告に努め、患者さんに安全・安心で質の高い医療を効率的かつ継続的に提供する。

検体検査の院内化を行うとともに、院内測定項目の拡大による、患者サービスの向上を図る。

### 【人員体制】

臨床検査技師（常勤）38名（内2名 育休）、  
臨床検査技師（非常勤）2名、事務（常勤）4名、  
事務（非常勤）2名、准看護師（非常勤）2名  
（2018年3月31日現在）

### 【管理職】

部長1名、課長1名、主任3名、  
副主任3名、調査役（前部長）1名  
（2018年3月31日現在）

### 【2018年度の取り組みおよび実績】

2018年度の目標に「各部門の底上げ」、「検査件数の増加」、「インシデント/ヒアリハット報告数増加による医療安全対策の向上」を挙げた。インシデント/ヒアリハットの内容の確認、RCAによる分析、KYTを定期的に行うことによりスタッフ間での危険性の情報共有を行い、予測できる事故を未然に防ぐことができるようになってきた。

1月より検体検査の院内化を行った。院内測定項目の拡大（グリコアルブミン、インスリン、UIBC、CA125、CA15-3、IgA、HBs抗体、NT-proBNP、バンコマイシン）および、分析装置の更新による検体処理能力が向上した結果、患者サービスの向上を図ることができた。

また、検体検査管理加算Ⅳの取得、院内検査項目のコスト削減、外部委託検査の価格見直しにより、病院収益の改善に大きく貢献することができた。

生理検査	2016年度	2017年度	2018年度
心電図	16,099	17,498	17,495
ホルター心電図	562	569	480
呼吸機能検査	6,827	7,215	7,358
脳波検査	109	104	81
聴力検査	9,480	9,603	9,457
腹部超音波	6,119	6,445	6,479
体表超音波	3,544	4,246	4,015
心臓超音波	3,959	4,172	4,389
簡易 PSG	40	37	33
精密 PSG	20	25	24
ABI・PWV	514	587	524
神経生理	581	1,207	1,357
採血	58,709	57,983	58,638

院内検査	2016年度	2017年度	2018年度
総合病院	926,441	967,666	975,935
クリニック	770,346	723,242	778,123
ドック	170,705	176,389	186,114
免疫血清	71,239	80,596	63,622
(12月まで)	144,339	146,116	145,325
院内輸血	9,491	17,579	18,453
微生物	8,418	14,976	14,220
外部委託	2016年度	2017年度	2018年度
総合病院	32,832	37,366	33,997
クリニック	34,553	26,940	27,872
ドック	14,739	14,673	12,860
微生物	12,766	7,943	6,580

病理検査	2016年度	2017年度	2018年度
迅速標本	192	186	169
組織標本	3,362	3,485	3,388
細胞診標本	247	225	220
(婦人科)	4,553	4,755	4,405
細胞診標本	16	15	11
(その他)	1,527	1,315	1,498
免疫	621	728	1,149

内視鏡検査	2016年度	2017年度	2018年度
上部消化管	3,023	2,947	3,143
下部消化管	2,416	2,197	2,074
ERCP	225	220	247
胃瘻造設	65	41	207
カプセル内視鏡	15	11	12

婦人科部門	2016年度	2017年度	2018年度
TESE	4	8	7
人工授精	68	82	66
体外受精	28	15	16
顕微授精	25	29	18
融解卵	21	41	42
胚移植	24	47	49

### 【学会発表】

- ・第 67 回日本医学検査学会 1 演題  
「当院で経験した心臓血管肉腫の 1 例」
- ・第 34 回岐阜県病院協会医学会 3 演題  
「膵液で経験した膵管内乳頭粘液性腫瘍の 1 例」  
「当院の不妊治療への検査技師の関わり方」  
「当院でのチーム医療～心臓カテーテル検査における臨床検査技師の関わり～」

### 【認定資格】

- ・超音波検査士 :6 名  
(日本超音波医学会)
- ・JHRS 認定心電図専門士 :2 名  
(日本不整脈心電学会)
- ・血管診療技師 :1 名  
(日本血管外科学会、日本脈管学会、  
日本静脈学会、日本動脈硬化学会)
- ・乳がん検診超音波検査実施技師 :1 名  
(日本乳がん検診精度管理中央機構)
- ・細胞検査士 :3 名  
(国際細胞学会 2 名、日本臨床細胞学会 3 名)
- ・認定輸血検査技師 :3 名  
(日本輸血・細胞治療学会)
- ・細胞治療認定管理士 :1 名  
(日本輸血・細胞治療学会)
- ・輸血機能評価認定制度 (I & A) 視察員 :1 名  
(日本輸血・細胞治療学会)

- ・認定血液検査技師 :1 名  
(日本検査血液学会)
- ・認定臨床エンブリオロジスト :2 名  
(日本臨床エンブリオロジスト学会)
- ・体外受精コーディネーター :1 名  
(日本不妊カウンセリング学会)
- ・不妊カウンセラー :1 名  
(日本不妊カウンセリング学会)
- ・消化器内視鏡検査技師 :1 名  
(日本消化器内視鏡技師会)
- ・栄養サポート (NST) 専門療法士 :1 名  
(日本静脈経腸栄養学会)
- ・二級臨床病理技術士 (病理学) :1 名  
(日本臨床病理学会)
- ・二級臨床検査士 (微生物学) :1 名  
(日本臨床検査同客員)
- ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 :3 名  
(岐阜県労働基準協会連合会)
- ・有機溶剤作業主任者 :2 名  
(岐阜県労働基準協会連合会)
- ・医療情報技師 :1 名  
(日本医療情報学会)
- ・遺伝子分析科学認定士 :1 名  
(日本遺伝子分析化学同学院)
- ・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理技師 :1 名  
(日本臨床化学会・日本臨床衛生検査技師会)

### 【今後の展望】

今年度は、検体検査の院内化を実施することができ、患者サービスの向上と病院収益に大きく貢献することができた。2019 年度は、さらに院内測定項目の拡大を行うことにより、診察前検査の充実を図っていききたい。

2019 年度も引き続き、各部門での Q C 活動・5 S 運動による業務の効率化および、インシデント / ヒヤリハット報告数増加による医療安全の向上を図っていく。

学会・研修会等への積極的な参加を促し、スタッフ各々の技術レベルの向上を図っていく。

〔文責：酒井昭嘉〕